

授業科目	*ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	中川 美幸						
授業概要	<p>本授業では、前期の学びを基に、より高度な実践力を習得することを目指す。特に、カンファレンスや事例分析を通じて、問題解決能力の向上を図る。実際の支援現場で求められるスキルとして、ファシリテーションやソーシャルマーケティングなどのソーシャルワーク技法も学ぶ。また、授業では、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かし、現場での具体的な事例や実践の課題を交えながら解説することで、より実践的な学びを提供する。実際のカンファレンスの進め方や、現場で直面するジレンマ、チームアプローチの実際などについても取り上げ、理論と実務の結びつきを意識した内容とする。学生は、実務に即した知識を習得するとともに、現場の現実的な状況をイメージしながら学ぶことで、ソーシャルワークの専門性をより深く理解することを目指す。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	教科書と資料を使い、解説します。時々、小テストも行います。				

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 事例分析や事例検討、事例研究の目的と意義を理解できる。 2. 様々な局面におけるソーシャルワークに関連する技法について理解できる。
理想的レベル	1. 事例分析や事例検討、事例研究の目的と意義を理解し説明することができる。また、実習などで実践できる。 2. 様々な局面におけるソーシャルワークに関連する技法について理解し、説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	20%	授業を自分でまとめたノート
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21210J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	

シラバスの確認

テキストの授業範囲を事前に通読

授業内容の復習

4

授業計画

第1回	オリエンテーション（講義の概要、進め方、評価方法等） テーマ：前期の復習
第2回	テーマ：カンファレンス① 会議の種類と方法について学ぶ
第3回	テーマ：カンファレンス② ミクロ・メゾ・マクロの会議について学ぶ

第 4 回	テーマ：事例分析 事例分析の目的や意義、事例分析を行う際の留意点について学ぶ
第 5 回	テーマ：事例検討 事例検討の目的や意義、事例検討を行う際の留意点について学ぶ
第 6 回	テーマ：事例研究① 事例研究の意義や目的について学ぶ
第 7 回	テーマ：事例研究② 前向き研究と後ろ向き研究、事例研究の実施手順や留意点について学ぶ
第 8 回	テーマ：ネゴシエーション① ネゴシエーションの基本について学ぶ
第 9 回	テーマ：ネゴシエーション② 原則に基づいた交渉やネゴシエーションのプロセス、交渉に臨む際に必要な要素を学ぶ
第 10 回	テーマ：コンフリクト・レゾリューション コンフリクト・レゾリューションに向けた方法や発展について学ぶ
第 11 回	テーマ：ファシリテーション ファシリテーションの定義や会議におけるファシリテーターの役割、ワークショップにおけるファシリテーションなどを学ぶ
第 12 回	テーマ：プレゼンテーション① プレゼンテーションの意義と方法について学ぶ
第 13 回	テーマ：プレゼンテーション② プレゼンテーションの留意点と評価について学ぶ
第 14 回	テーマ：ソーシャルワーク・マーケティング① ソーシャルマーケティングの概要について学ぶ
第 15 回	テーマ：ソーシャル・マーケティング② ソーシャルマーケティングのプロセスや実施と評価などを学ぶ
テキスト	最新・社会福祉士養成講座6 『ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』 中央法規出版 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で参考図書を紹介します
課題に対するフィードバックの方法	小テストやレポート（授業のまとめ）は確認後、返却します。レポートに書かれた質問についてはコメントをつけて返却します。また、授業中にもフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの理論と方法（共通）」で学んだ内容を理解しておきましょう 社会福祉専門職の役割や業務は幅広く、学ぶことがたくさんあります。この科目で学ぶ内容は、相談援助の実践において基本となるものです。繰り返し復習して、自分のものになるように習得していきましょう。必要に応じて、他の授業で学んだ内容についても復習し、概念や用語についての理解を深めましょう。また、世の中の動きやニュースにも関心を持ちましょう。